



月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 257 号-①【基準日 2025 年 12 月 30 日】



🌸 社長メッセージ



世界は激動の新時代に

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、新年あけましておめでとうございます。旧年中はご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

本年も皆さまのご期待に添えるように、役職員一同、精進して参りますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年は、米国トランプ政権の自国優先主義の経済・関税政策によってマーケットが大きく乱高下する展開となり、4月には世界株式市場が総じて大きく調整しましたが、その後、AI投資ブームが株式市場を牽引し、FRBの利下げなども追い風にして年末にかけて日米株価ともに史上最高値を更新する一年になりました。地域別で見ると新興国株式が好調で米国株式や先進国株式をアウトパフォームし、欧州株式も米国株式をアウトパフォームしました。また、地政学リスクの高まりや米ドルの信認低下懸念から金(ゴールド)価格が大幅に上昇した一年でした。

そのような中で皆さまのありがとうファンドは国際分散投資を継続して、金(ゴールド)にも分散投資することでリスクを抑制しながら、世界株式市場の上昇と金価格上昇の恩恵を受けて、年間で+20%上昇して一年を終えることができました。

今後の見通しですが、米国トランプ政権の自国優先主義の経済・関税政策により、世界経済及び企業業績の先行き不透明感からボラティリティの高い相場展開が続くと思われます。世界的な株高を牽引しているAI投資ブームの動向には注意が必要で期待と懸念が交錯しており、巨額設備投資に見合うリターンが得られるのか冷静に見極めていく必要があるでしょう。また、基軸通貨である米ドルの信認低下や地政学リスクの高まりへの備えとしての金投資需要は今年も継続すると思われます。

また、米国トランプ政権は国家安全保障戦略において、これまでの世界を牛耳る「グローバル覇権」の一極支配から多極化への流れを鮮明にしており、西半球である南北アメリカ大陸の「地域覇権」支配を目指す戦略へシフトすることを明確にしています。年初のベネズエラ攻撃を皮切りに「地域覇権」支配に向けた動きが今後も現れてくるものと思われます。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

一方で、日本においては、日中関係の悪化による政治的・経済的な影響が懸念されていますが、高市総理は高い内閣支持率を背景に外交・安全保障政策を前へ進めており、また、責任ある積極財政によって成長分野や供給能力拡大、防衛力強化などへの投資を進めて経済成長を目指していく方針ですが、維新との連立政権の中でどこまで実行していけるかに注目が集まっております。状況次第では連立組み換えや解散総選挙などの政局に発展する可能性も少なくないと思われます。

また、日銀の追加利上げ見通しについては、現在の物価上昇は輸入物価指数から判断すると円安による為替要因ではなく、供給制約によるコストプッシュ要因が大きいので、利上げして多少円安を抑えられたとしても物価上昇を抑制することは難しい上に、追加利上げによる金利上昇、景気引き締めが悪影響で景気後退が起これば、スタグフレーションによって中小企業や地方経済、一般庶民の生活が苦しくなっていくと思われます。そうなれば、大企業と中小企業、東京と地方、富裕層と一般庶民の格差はますます拡大していくことになると考えられるので、日銀は慎重な舵取りを求められることになるでしょう。

世界は激動の新時代に

昨年からの米国トランプ政権の経済・金融・関税・安全保障政策によって、これまでの国際秩序が崩壊し、世界は激動の新時代に入ったと言えるでしょう。地政学的な変化が経済・金融に大きな影響を与えていく中、先行きを予測するのはますます難しくなっています。

また、日本においてもデフレ時代からインフレ時代が変わったことによって、デフレ時代の常識が通用しなくなることとを認識しておくことが大切でしょう。つまり、お金の価値が下がり、モノの価値が上がる世の中に变化したので、必要なものは値段が下がるのを待つのではなく早く購入した方が有利であると考えられます。

このような先行き不透明なインフレ時代においては、預貯金だけでは実質購買力を維持できないので、資産防衛の観点からも資産運用の必要性は高まっていると考えられます。そして、資産運用で大切なことは資産分散と時間分散を組み合わせて分散投資をしていくことです。

国・地域・資産クラス・銘柄を分散することで、カントリーリスクや信用リスク、インフレリスク、自然災害リスクや地政学リスク、個別銘柄リスクを軽減していくことができ、短期的な価格変動リスクに対しては時間軸を5年、10年、20年単位の長期で捉えて時間分散することで軽減していくことができるでしょう。

世界株式市場は各国の物価や景気見通し、金融政策、地政学リスク等に左右されて、ボラティリティの高いマーケットになると思われますので、国際分散投資における資産配分と個別銘柄の選別が大切になってくると考えます。また、インフレヘッジやリスクヘッジの観点からの金(ゴールド)への分散投資についても引き続き効果的だと考えられます。

弊社では、インフレ局面でも国際分散投資で物価上昇を加味した世界経済の成長及び企業の利益成長の恩恵を享受しつつ、金(ゴールド)への分散投資でダウンサイドリスクを抑制して、皆さまの資産を守りながら長期で増やしていけるように運用を継続して参ります。これからも先を見据えてお客様の資産運用を一生サポーターさせていただきますので、本年もありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです。

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



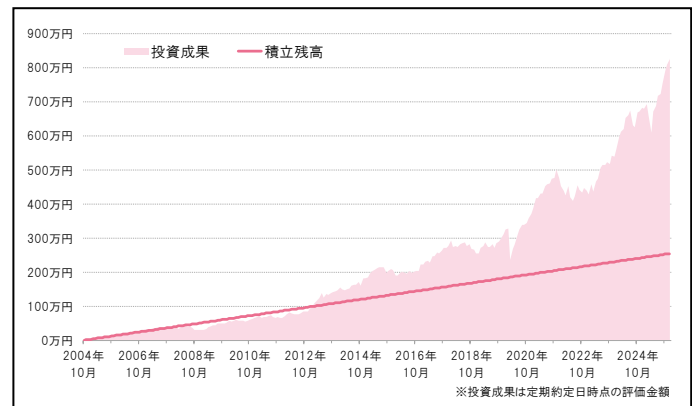
①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンのチャンスとなります。

期間	平均取得単価	損益
1年	38,783円	+17.6%
3年	33,259円	+37.1%
5年	29,900円	+52.5%
10年	22,069円	+106.7%
初回(2004年10月)から	13,757円	+231.5%

②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場が良い時も悪い時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。



③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



タイミングを見計らうのではなく、
時間を味方につけていきましょう！

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	14万1118円
3年	36万円	49万3668円
5年	60万円	91万5223円
10年	120万円	247万9952円
初回(2004年10月)から	255万円	845万3812円

2025年12月30日現在(基準価額:45,608円)

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、**時間の分散が効果的**です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価が平均化されることで、分散の効果が得られます。

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。

※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。

※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

🌸 特定口座年間取引報告書交付のお知らせ

特定口座にて 2025 年に『ありがとうファンド』を換金されているお客さまには、「令和 7 年分 特定口座年間取引報告書」を郵送および電子交付させていただきました。

「特定口座年間取引報告書」は、昨年中に特定口座内で換金された『ありがとうファンド』の譲渡の対価の額(収入額)、取得費および譲渡に要した費用の額などを記載しており、該当する年間の譲渡損益等を集計した報告書です。

尚、電子交付サービスに同意されているお客さまの場合、「特定口座年間取引報告書」はマイページ上での確認となり、郵送されません。

尚、次のお客さまは、同報告書が作成されませんので予めご了承ください。

- ・ 2025 年に換金をされていないお客さま
- ・ 一般口座で換金をされたお客さま

特定口座年間取引報告書の交付方法について

電子交付の同意	交付方法
あり	電子交付 (マイページ上での確認)
なし	郵送

🌸 『ありがとうファンド』の純資産残高 300 億円突破！

2026 年 1 月 6 日に『ありがとうファンド』の純資産残高が 300 億円を突破しました。

これもひとえに皆さまからの暖かいご支援と継続して託されたご資金、そして長期投資の運用成果の賜物であると感謝しております。本当にありがとうございます。

今後もお客様の資産運用を一生サポーターしていけるように精進して参りますので、引き続きありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

🌸 「家族口座プログラム」を開始しました！

すでに口座をお持ちのお客さまのご家族やご家族で同時に新規口座開設をしていただいた場合に、弊社から感謝の気持ちを込めてプレゼントを贈呈させていただきます。

お客さまのご家族で、ありがとう投信に興味をお持ちの方がおられましたら、是非ご利用ください。

詳しくはこちら(<https://www.39asset.co.jp/service/family/>)をご覧ください。



🌸 今月のFP情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！
皆さまの金融リテラシー向上の一助になれば幸いです。

実質半額？スマホの残クレ「残価設定プログラム」の仕組みを解説

近年、ネットや SNS で「残クレ」という言葉が話題になっていますが、車好きの方や車の購入経験のある方はご存じでしょう。「残クレ」とは、自動車の残価設定型クレジット/ローンのことで、その仕組みを携帯電話(スマホ)の購入に応用したものが「スマホの残価設定プラン」です。今回は、スマホの「残価設定型プラン」について、基本的な仕組みから、メリット・デメリット、そして契約前に知っておきたい注意点も解説します。



スマホの残価設定の仕組み

携帯ショップや家電量販店などで「実質半額」「実質 1 円/月」などの広告を見たことはありませんか？最近の携帯電話は 10 万円以上のものも多く、「半額？1 円？」と疑ってしまいますよね。高額になった端末代金を一括で購入するのが難くなったため、キャリア各社がユーザーの実質負担を減らす「残クレ(残価設定型プラン)」を提供しています。

残価設定型プランは、残価(2 年後の下取り価格)を設定し、その残価を本体価格から差し引いた金額だけを分割で支払うという仕組みです。2 年後(23 ヶ月、25 ヶ月目など)に端末を返却(下取りに出す)すれば残価の支払いが不要になるという購入方法です。



例えば、10 万円の端末を残価設定型プランで購入し、残価を 42,500 円で設定。この場合、購入者が支払うのは、差額の 57,500 円(10 万円ー残価 42,500 円)のみです。この 57,500 円を 23 回に分けて毎月 2,500 円ずつ支払い、23 ヶ月目に端末を返却すれば、残価である 42,500 円の支払いは不要になり、実質 57,500 円で購入したというイメージです。これが「実質半額」や「実質負担額〇〇円」といった広告のからくりです。

残価を一括払いまたは分割で支払い続ければ、端末を買い取ることも可能です。(自分のものになる)ただし、その場合、最終的な総支払額が通常の分割払いよりも高くなるケースが多いようです。

スマホの残価設定プランのメリット・デメリット

メリット	月々の負担軽減	高額な端末でも、残価を除いた金額を分割で支払うため、月々の支払額が大幅に抑えられる。
	最新機種に替えやすい	2年などの一定期間後に端末を返却することで、残りの残債支払いが免除されるため、実質負担額を抑えて常に新しい機種を使える。
デメリット	所有権がない	返却が前提なので、端末を自分のものにできない。
	総支払額が割高になる可能性	返却しない場合は、残価分を一括または分割で支払う必要があり、その場合、金利がない通常の分割払いや一括購入に比べて、総支払額が高くなる可能性がある。
	返却時の追加費用	返却時に端末の故障や破損(画面割れや著しい傷)など、査定基準を満たさないと追加費用(数万円)が発生する。
	手続きや条件の制約	プランによっては、変更・解約などの手続きに条件が設けられている場合がある。残価設定型プランは、回線契約(SIMカードの契約)なしで購入・利用できるため、途中でプラン変更や解約するのは可能。しかし、加入・利用条件が設けられていることが多く、残りの分割代を支払う義務が発生することもあるため注意が必要。

知っておきたい注意点

◆月額料金と契約プラン

端末代金は安くても、指定の高額な通信プランへの加入が条件で、トータルで割高になる可能性があります。端末代金(分割払い:例 23 回) + 通信プラン料金 = 月額料金を確認しましょう。

◆信用情報への影響

残価設定型プランは、「レンタル」に近い仕組みですが、形式的には端末を「購入」する割賦販売契約になります。契約自体はローン(信用供与)にあたるため、審査と支払いの記録は信用情報にしっかり残ります。購入時は、原則として審査が必要で、最新の 10 万円以上の高額な端末の場合、審査は厳しくなる傾向にあります。また、過去にクレジットカードの延滞などがあると契約を断られる可能性もあります。

購入後、毎月の支払いが滞ると信用情報機関に事故情報として登録され(いわゆるブラックリスト)、クレジットカードの審査や住宅ローン、自動車ローンなどに悪影響を与えます。



残価設定型プランがおすすめの人は？

残価設定型プランの利用は全ての方に向いているわけではありません。ご自分に合っているかどうか以下のポイントで確認してみてください。

残価設定型プランがおすすめの人	残価設定型プランが向いていない人
1～2年ごとに頻繁に新しい機種に買い替えたい	1つの端末を3年以上長く使いたい
端末料金の支払いを抑えつつ、最新機種を使いたい	総支払額が安い方が良い
スマホを傷をつけずに丁寧に使える または補償サービスに加入する	スマホをよく落としたり、丁寧に扱えない
端末の所有権にこだわらない	最終的に端末を自分のものとして所有したい

長期利用するのであれば、メーカー公式ストアや家電量販店で一括または通常の分割払いで端末を購入するのがおすすめです。総支払額が安くなる可能性が高く、端末が完全に自分のものになります。

1円スマホ

「1円スマホ」は、新規契約や他社からの乗り換え(MNP)などの条件に、端末を1円(または実質1円)で提供するキャンペーンのことです。ただし、購入方法は「返却不要の一括1円」と「2年後に返却する実質1円」の2パターンに分かれています。

「一括1円」は、特定の条件(通信契約、特定プラン加入など)を満たすと、端末を1円で一括購入でき、2年後の返却は不要で、自分のものになるのが特徴です。2023年の割引規制強化で、高額なiPhoneなどの最新機種は1円では買えなくなりましたが、2万円台のエントリーモデル(格安スマホの機種)は一括1円の対象になることがあります。「一括1円」は、ウェブストア限定だったり、長期契約だったり、予期せぬ費用が必要だったり、適用条件が厳しいため、事前にプラン内容・契約期間・解約条件などを確認しましょう。

「実質1円」は、前述した2年後の端末返却を前提とした残価設定型プランのことです。2年間は月々1円の端末代金を支払い、その後、返却すれば残りの支払いが免除されます。返却しない場合、高額な残金支払いが発生します。

残価設定プランは「月々の支払いを抑えつつ、2年ごとに最新機種へ買い替える人」にはメリットが大きい一方、長期利用や端末を自分のものにしたい人には不向きなプランです。

契約する前に、購入・返却条件、月額料金、支払総額、残価、査定基準などをしっかり確認し、ご自身のスマホの使い方に合っているかを見極めることが重要です。

各キャリアによってプランの名称や加入・利用条件、対象機種などが異なりますので、詳細は各社にご確認下さい。



ありがとうの本棚

弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。



～今月の一冊～

9000人を調べて分かった 腸のすごい世界 - 2023/4/24 國澤 純 著

今月は今話題の腸活の本をご紹介します。

近年、腸の研究が進み、脳と腸は互いに影響しあっているということが実証されています。過度な緊張や不安からおなかが痛くなったり、おなかの調子が悪くて物事に集中できなかった経験はありませんか。

その現象は「脳腸相関」といって、感情や思考と腸が密接であるということの証だそうです。

情報番組や健康雑誌で便秘対策の腸活ばかりが取り上げられるせいで、腸活＝便秘対策であり、腸は消化・排泄するための臓器というイメージが根強いが、腸は第二の脳であり、腸活＝免疫力アップと改めてほしいと筆者は主張しています。

1人の人間の中に、約700種類、1兆個もの菌がいるといわれています。ここまで菌の種類と数が増えたのは、人類がこれまでいろいろな環境に住み、いろいろなものを食べてきたことによると考えられています。自給自足の生活を送っていた昔の人は、栄養の偏りやエネルギー不足を腸内に様々な種類の細菌を住まわせることでカバーしてきました。

一方、スーパーに行けば食べたいものがいつでも手に入る現代人は、季節(旬のもの)に関係なく、好きなものばかり食べてしまう傾向にあります。それが腸内の菌の種類の偏りの原因となり、免疫力低下につながるらしいです。

そのほかにも、認知症やうつ病の人の腸内環境についても触れられています。興味のある方は読んでみてください。



毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2026年 1月分	12月4日(木)	12月22日(月)	1月6日(火)	1月15日(木)	1月19日(月)
2026年 2月分	1月5日(月)	1月27日(火)	2月6日(金)	2月17日(火)	2月19日(木)
2026年 3月分	2月5日(木)	2月24日(火)	3月6日(金)	3月16日(月)	3月18日(水)
2026年 4月分	3月5日(木)	3月25日(水)	4月6日(月)	4月14日(火)	4月16日(木)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

1月19日(月)	キング牧師記念日	ニューヨーク	2月2日(月)	聖プリジッドの日	アイルランド
2月16日(月)	ワシントン誕生日	ニューヨーク			

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99%(税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.30%±0.15%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

■レポートで使用している指数・為替データの注記：騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

【日本株】→FactSet Market Indices Japan 配当込み(税引き前配当再投資)

【世界株】→FactSet Market Indices World 配当込み(税引き前配当再投資)

【米国株】→FactSet Market Indices United States 配当込み(税引き前配当再投資)

【欧州株】→FactSet Market Indices Europe 配当込み(税引き前配当再投資)

【新興国株】→FactSet Market Indices Emerging 配当込み(税引き前配当再投資)

■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

< 免責事項 | Disclaimer >

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中での「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

